

シンポジウム

美しい日本の暮らし・秋

◆日時
令和2年11月29日(日)
10時30分～12時30分(開場10時)

◆会場
大阪市立住まい情報センター
3階ホール(大阪市北区天神橋6丁目4-20)



◆主催 文化庁 ◆企画・運営 公益財団法人 山本能楽堂
◆共催 大阪市立住まいのミュージアム(愛称・大阪くらしの今昔館)



令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業
「生活文化振興等推進事業」

二十四節気七十二候
～暮らしをいろどる生活絵巻～
日本人ってすごい!

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 住まい情報センター 8階
TEL 06-6242-1170 〃 FAX 06-6354-8601 <http://konjyakukan.com/>

シンポジウム

美しい日本の暮らし・秋

わたしたち日本人は古来、自然への畏敬の念をいだきながらも、自然と共存・共生し、日常の暮らしの中に四季折々の自然を取り込み、その移ろいを細やかに感じながら生活を楽しんできました。

このシンポジウムでは、そのような暮らしの中で生れた日本人の民族衣装である「和装」を中心に「住まい」「茶道」をキーワードとして今日的な視点で和装の魅力をひもときます。

日常生活の中でふだん着であった和装の多様性や面白さ、さらにハレの日の和装をかつての花嫁行列から学び、日本人の生活の中での和装の広範性や重層性について考えます。

なお、シンポジウムでは花嫁行列の動画を上映し、明治～大正時代の花嫁衣裳を展示します。

◆日時 令和2年11月29日(日) 10時30分～12時30分(開場10時)

◆会場 大阪市立住まい情報センター3階ホール(大阪市北区天神橋6丁目4-20)

◆定員 150名

基調講演

「生活を楽しむ日本人の暮らし・秋」	大阪くらしの今昔館 館長	谷 直樹氏
【事例報告】「茶の湯の季節感」	大徳寺玉林院	森 雅子氏
「和装がふだん着だった頃」	大阪くらしの今昔館	深田 智恵子氏
【まとめ】「美しい都市のくらしと創造性」	文化庁文化創造アナリスト 大阪市立大学名誉教授	佐々木 雅幸氏

◎当日の様式及び、花嫁行列の動画を後日インターネットで配信します。

◆お申込み方法

氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入のうえ、郵便又はFAXでお申し込みください。

「おおさか・あじゅ・ネット」

URL <https://www.osaka-angenet.jp/>
からもお申込みいただけます。

● 郵便 ●

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪くらしの今昔館「美しい日本の暮らし・秋」係

● FAX ●

06-6354-8601

*定員に達し次第、受付を締め切ります。

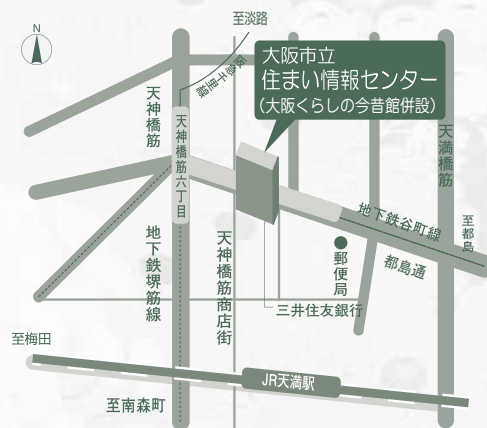
*本シンポジウムの参加証は発行しません。参加申込後、特に連絡がない場合は直接会場へお越しください。

新型コロナウイルス感染症対策について

マスク着用、手指のアルコール消毒、検温にご協力をお願いします。体調が優れない方におかれては、参加を御遠慮いただきます。会場においては、換気を十分に行い、密集を避け、座席に距離をとるようにしています。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、事業の一部又は全部を中止する場合があります。



スマートフォン
からの
お申し込みは
こちら



■OsakaMetro谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅
3号出口をご利用下さい。

■JR環状線「天満」駅からは北へ約650mです。

◆お問い合わせ

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 住まい情報センター 8階
TEL 06-6242-1170(内) FAX 06-6354-8601 <http://konjyakukan.com/>